令和８年郡山市議会12月定例会提案理由

（令和８年11月27日）

本日ここに、令和８年郡山市議会12月定例会を開会するに当たり、当面する市政の課題及び今回提出いたしました議案の概要等について御説明申し上げます。

はじめに、**市政を取り巻く情勢**について申し上げます。

まず、**国の動向**についてであります。

政府は、今月13日に中東情勢の混乱長期化に伴うエネルギー価格高騰への対応を継続するため、令和８年度一般会計中東情勢等対応予備費の使用を閣議決定しました。

本市においては、国の動向を注視し、引き続き情報収集及び分析に努めるとともに、市民生活や地域経済への影響を考慮しながら、適切に対応してまいります。

次に、**最近の景気動向と雇用情勢**について申し上げます。

我が国の経済について、内閣府は11月の月例経済報告において、「景気は、総じてみれば緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある。」として、基調判断を据え置いております。

また、日銀福島支店は11月の金融経済概況において、「県内景気は、横ばい圏内の動きとなっている。」と総括判断を据え置いております。

雇用情勢については、郡山公共職業安定所管内の９月の有効求人倍率は1.51倍となっており、前月比で0.08ポイント上回り、全国平均の1.19倍及び県平均の1.25倍と比較しましても、それぞれ上回っております。

引き続き、情報の収集・分析・提供に努めてまいります。

次に、**本市の音楽関係団体の活躍**については、本年も目覚ましいものがありました。

東日本学校吹奏楽大会において、先月10日の小編成、中学生部門で、湖南

小中学校から出場された４名が、初の金賞を受賞しました。

全日本合唱コンクール全国大会においては、先月24日の高等学校部門で、安積黎明高等学校と郡山高等学校がそれぞれ金賞を、翌日の中学生部門で、郡山第一中学校が金賞・大阪市長賞を、また、今月８日の小学生部門で、柴宮小学校が銀賞を受賞しました。

日本学校合奏コンクール全国大会においては、グランドコンテストで、今月７日の高校生の部で安積黎明高等学校が最優秀賞を、郡山商業高等学校が優秀賞を、翌日の中学生の部で、明健中学校が優秀賞を、郡山第一中学校が最優秀賞・郡山市長賞を、郡山第二中学校が最優秀賞・福島県教育長賞を、小学生の部で、橘小学校が最優秀賞・福島県教育長賞を受賞しました。また、今月14日のソロ＆アンサンブルコンテストで、橘小学校が最優秀賞・文部科学大臣賞を受賞しました。

これらの結果は、日頃のたゆまぬ御努力の賜物であり、児童生徒の皆様と、音楽活動を支えてこられた教職員、保護者の皆様に心から祝意と敬意を表します。

スポーツ関係団体の活躍については、高等学校の各種競技県大会において、サッカーでは尚志高等学校が男女ともに、バレーボール女子では郡山女子大学附属高等学校が優勝を飾り、それぞれ全国大会出場の切符を手にされました。

今月15日に開催された第38回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会においては、本市チームが16区間中６区間において区間賞を受賞し、２年ぶり９回目の総合優勝を飾りました。

また、来年１月にオーストリアで開催される第21回冬季デフリンピックにおいて、本市在住の山口翔大（やまぐちしょうだい）選手がカーリング日本代表に選出されました。

これらの栄誉と御活躍に対し、選手、関係者の皆様に心から祝意と敬意を表します。

続きまして、**当面する市政の課題**について申し上げます。

はじめに、国の「地域未来戦略」に基づく**「地場産業成長プラン」**については、本市ではこのたび、強い地域経済の形成や関係人口の持続的な創出を

目指し、「郡山市 食・観光分野における地場産業成長プラン」を策定しました。

昨日、首相官邸において、「地域未来戦略に関する関係副大臣等会議」が開催され、私が出席し、高市総理大臣に対して直接、本市の取り組みを説明したところであります。

本プランの目標は、郡山駅西口駅前広場のリニューアルを契機として、郡山駅を起点に、食・農・文化・スポーツなどの地域資源を観光と結び付けて発信し、県内外からの誘客や消費、民間投資の促進を図るものです。

今回のプラン策定により、駅前広場の整備に係る国の交付金など、財源の確保に向け、大きく前進したものと考えております。

次に、**サイバーセキュリティ対策**については、本年、国内外でサイバー攻撃による不正アクセス事案が急増していることを受け、国は先月９日付けで、情報漏えい等への対応についての通知を発出しております。

これを受け、本市では同日付けで、全庁に対し、不正アクセスに関する注意喚起を緊急通知するとともに、今月24日には、郡山市情報セキュリティ会議を開催するなど、全庁で徹底する対策について、改めて確認を行ったところであります。

また、相次ぐ各種プログラムの脆弱性対応についても適宜対策を行っており、現在、高速化・大規模化しているサイバー攻撃に対し、ＡＩを活用した脆弱性対応の検討も進めるなど、更なる高度な対策を複合的に講じ、情報セキュリティを確保してまいります。

次に、**令和９年度当初予算編成**については、第７次総合計画の着実な推進を図るため、「『選ばれるまち』の実現につながる事業の重点化」など６つの重点視点を踏まえた予算計上を行い、その中でも将来都市像の実現に向けて特に効果的な事業を計上する「将来都市像実現枠」を設け、「今も未来も選ばれるまちへ　市民とともに進める予算」を基本方針として予算編成を行ってまいります。

次に、**令和７年国勢調査**については、本年９月 29 日に確報値が発表され、本市の人口は、31 万 2,873 人で、令和２年の前回調査と比較して、1 万 4,819 人、率にして 4.5 パーセントの減少となりました。また、世帯数は、14 万 1,908

世帯となり、前回調査と比較して、1,467 世帯、率にして 1.0 パーセントの増加となりました。

人口・世帯数とも県内自治体において最多となったものの、本市においても人口減少が加速している状況であると認識しております。

将来に向け「選ばれるまち」であり続けるため、人口動態を注視し、分析を進めながら、シティプロモーションや移住定住・関係人口の創出などの施策を、効果的かつスピード感を持って取り組んでまいります。

次に、こおりやまファンクラブのリニューアルに向けた、**新たなインスタグラムアカウント「Fun Fan KORIYAMA」**による情報発信を、先月 21 日から開始しました。このインスタグラムでは、本市で活躍する方々を通じて、郡山の魅力を発信することをテーマとしており、投稿内容の反響等を分析しながら、来年４月以降の本格稼働に向けた運用を進めてまいります。

次に、**郡山とつながる交流イベント「Hello KORIYAMA」**については、主に関東圏にお住まいの若者などを対象に、先月 31 日に東京新宿で開催しました。当日は、180 名を超える方々が参加され、本市への移住者等との交流をはじめ、フロンティア大使の箭内夢菜（やないゆめな）さん、フリーアナウンサーの直川貴博（のうがわたかひろ）さんとのトークショーや、本市にまつわるクイズ、グルメ等を通じて、本市の魅力や暮らしを感じていただきました。

本イベントを契機として、本市とつながりを深めていただくことで、関係人口の創出や将来的なＵＩＪターンの促進に繋げてまいります。

次に、**ふるさと納税**については、本年４月に設置した選ばれるまち推進課が中心となり、全庁体制で返礼品の掘り起こしや新規開発を進めており、今月５日の共同記者会見に参加いただいた新規返礼品提供事業者 11 社をはじめ、25 社 109 品を新たに加え、登録返礼品数は合計 751 品となりました。

また、年末の寄附集中期間に向け、首都圏及び関西圏での大手ポータルサイト主催イベントに初めて出展し、銘菓や地酒、農産物加工品のほか、新たに登録した、返礼品として人気の高い日用品や体験型返礼品を通じて、本市の魅力を全国に発信してまいりました。

次に、**西田敏行メモリアルコーナー「愛してるぞ～い！」**については、ビッグアイ市民プラザに、今月 21 日に開設し、市内外から多くの皆様に御来場

いただいております。

本コーナーでは、出演作品の写真や映像、衣装、受賞トロフィーなど約 150 点を展示しており、名誉市民である故・西田敏行様の御功績を全国に広く発信するとともに、若い世代へしっかりと引き継いでまいります。

次に、**ドイツ・エッセン市との都市間協力**については、先月 21 日に、エッセン市長を団長とする訪問団が来郡され、産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所をはじめとする市内各所を視察いただくとともに、郡山市議会、郡山商工会議所、ジェトロ福島の皆様の御出席のもと、様々な意見交換を行いました。

来年はエッセン市との都市間協力の覚書締結 10 周年の節目の年を迎えることから、引き続き、両市における都市間協力の強化に努めてまいります。

次に、**台北市政府教育局との教育交流協力**については、本年 1 月に本市、本市教育委員会及び台北市政府教育局の３者で締結した「教育交流協力に関する覚書」を契機として、先月５日から８日までの間、教育長が台北市を訪問し、教育交流の促進に向けたプロモーションを行ってまいりました。

また、先月 15 日及び 16 日には、台北市政府教育局をはじめ、現地学校関係者や高校生、総勢 20 名の皆様に本市を御訪問いただき、市内の高校との交流や地元企業を視察するなど相互交流を進めているところであります。

次に、**市内旅館等宿泊支援事業「こおりやま開拓クーポン」**については、物価高騰の影響を受けている宿泊事業者支援及び市内経済への効果波及を目的とし、市内宿泊施設を利用する宿泊者に対して一泊につき 2,000 円を割り引くクーポンを 10 月１日から発行しております。

今月 25 日現在、予定数の６万５千人泊中、県内外から５万３千人泊を超える予約があり、市民の皆様はもとより、宿泊事業者や関係事業者からも好評をいただいております。

次に、来年４月 29 日開催の**「第 34 回郡山シティーマラソン大会」**については、世界的な人気を博す「ポケットモンスター」とのコラボレーションによる「ポケモンラン」の開催が決定しました。

本イベントは国内で３か所目、本州では初めての開催となることから、国内外から大勢のファンをはじめ、これまで以上の参加者を見込んでおります。

今後におきましても、観光誘客はもとより、本市経済の活性化及び交流人口の拡大に取り組んでまいります。

次に、**産業廃棄物最終処分場の設置及び管理**については、事業者による早期の情報提供と地域住民が意見を述べる機会を確保するとともに、生活環境の保全を図るため、事業者に対して、住民説明会開催の義務付けや、環境保全協定締結の努力義務化等について規定する郡山市産業廃棄物最終処分場の設置及び管理の適正化等に関する条例案を、本定例会に提出しております。

次に、**町内会長等と市長との懇談会**については、町内会長等の各地域の代表者の皆様と直接意見交換を行う場として、先月から今月にかけて計４回開催しました。

懇談会でいただいた御意見、御要望は、広く市政に反映させるとともに、今後も懇談の機会を設け、「市民目線」、「現場主義」を大切にした市政運営に努めてまいります。

続きまして、**提出議案等の概要**について申し上げます。

はじめに、**補正予算の概要**であります。

今回の補正予算は、「令和８年度予算編成方針」をベースとしつつ、「選ばれるまち」や「新たな行政課題や需要への対応」に要する経費や事務事業の確定等による整理予算を計上するとともに、来年度当初から速やかに事業着手するための債務負担行為の設定など、時宜にかなった今後必要となる予算を編成いたしました。

それでは、**主要な事務事業**について申し上げます。

はじめに、**「選ばれるまち」**についてであります。

ふくしまデスティネーションキャンペーン推進事業については、ふくしまアフターＤＣが来年４月から６月まで､福島県全域で開催されますことから、引き続き、本市の魅力を発信・活用し、更なる誘客や周遊促進を図るため、安積艮斎（あさかごんさい）まち歩きマップやクリームボックス手帖、御朱印めぐりマップの作成に要する経費を計上しております。

なお、安積艮斎関連イベントとして、歴史情報博物館では、来年３月20日

から６月27日までの期間で、企画展「安積艮斎－郡山が生んだ幕末の知の巨人－」を開催します。

次に、**美術館展覧会等活動推進事業**については、ふくしまアフターＤＣ連携企画のひとつとして、美術館において、企画展「マリメッコ展　模様のちから」を来年４月17日から６月20日にかけ開催するため、債務負担行為を設定するものであります。

1951年の創業以来、世界的な人気を誇るフィンランドのデザインハウス「マリメッコ」の世界観と多彩な魅力を紹介する展覧会を予定しております。

次に、**地球温暖化対策事業**については、本市の公共交通における脱炭素化を推進するため、市内路線バスを運行する福島交通株式会社様が進める、東北初となる営業所単位での全ての路線バスをＥＶ化する計画に対し、その導入を支援する経費を計上しております。

次に、**若者雇用促進事業**については、市内の高校生が地元産業や企業の魅力に触れる職業体験イベント「みらい発見フェスこおりやま」を、今年度に引き続き、来年７月の開催に向け、債務負担行為を設定するものであります。

若者の地元就職への更なる意識醸成を図るため、来年度は、開催期間、参加校及び参加企業を拡充し、より多くの高校生が参加できる機会を創出してまいります。

続きまして、**「新たな行政課題や需要への対応」**についてであります。

アンダーパスの冠水事故防止対策については、本市では、これまで、自動通報システムや水位の分かる路面標示、ＬＥＤ冠水警告板等の整備のほか、事業者との災害協定に基づく冠水時の通行止め実施体制の構築など、先進的な安全対策を進めてまいりました。

これまでの取り組みに加え、更なる対策の強化として、自動車の運転者が平常時から冠水リスクを直感的に認識できるよう、特にリスクが高い７箇所に対し、予防的な事前通行止めを周知する看板の整備に要する経費を計上しております。

次に、**防災情報発信事業**については、避難情報等を配信している防災情報伝達システムが更新時期を迎えることから、新たにクラウドシステムで構築

することにより、防災行政無線の音質を改善するほか、庁舎以外の場所からでも情報を配信することを可能とするなど、高機能化するための債務負担行為を設定するものであります。

次に、**小児初期救急センター事業**については、将来にわたり持続可能な小児救急医療体制を確保するため、来年４月に休日・夜間急病センターの小児科を、太田西ノ内病院が開設する「こおりやま休日・夜間小児救急センター」に統合します。これに伴い、必要となる施設・設備の改修等に対する補助や、市民の皆様への周知・広報に要する経費を計上しております。

次に、**小・中学校施設環境整備事業**については、来年４月の中田地区の小・中学校統合に向け、新たに運行することとなるスクールバスの進入口を、統合先の緑ケ丘第一小学校と緑ケ丘中学校に整備し、車両と歩行者の動線を分離することで、児童生徒が安心して学校生活をスタートできる環境づくりに要する経費を計上しております。

次に、**放課後児童クラブの増設**については、利用ニーズの増加や中田地区の小学校統合に対応するため、安積第三小学校及び緑ケ丘第一小学校の各クラブにおける教室の増設に要する経費を計上しております。

次に、**こどもの居場所づくり**については、中田地区の小学校統合を踏まえ、中田地域交流センターを活用した放課後等におけるこどもの居場所の整備に要する経費を計上しております。

次に、**乗合タクシー運行事業**については、交通空白地解消等に向け、喜久田・熱海地区の運行エリアの再編や東部地区への新規導入を図り、市内郊外部12地区において、こどもから高齢者まですべての人が安心して円滑に移動できる公共交通ネットワークの維持・充実のための債務負担行為を設定するものであります。

次に、**障がい福祉施設の長寿命化改修事業**については、平成３年の開所から35年が経過した花かつみ豊心園の施設の長寿命化を図るとともに、利用者一人ひとりが安全安心に生活できる環境を整備するため、改修工事に係る設計業務等について、債務負担行為を設定するものであります。

以上が補正予算の概要であり、この結果、**一般会計補正予算案**は、12億

6,794万５千円の増額、累計では、1,493億6,145万円となり、前年度同期と比較し、1.2パーセントの増となります。

また、**特別会計補正予算案**は、国民健康保険特別会計など、15の特別会計において、それぞれの目的に沿った経費を計上しております。

この結果、特別会計補正予算総額は、29億673万１千円の減額、累計では、1,004億8,923万３千円となり、前年度同期と比較し、3.4パーセントの減となります。

従いまして、一般及び特別両会計の補正予算額は、16億3,878万６千円の減額、累計額では、2,498億5,068万３千円となり、前年度同期と比較し、0.7パーセントの減となります。

次に、**条例及びその他の議案**としては、「郡山市産業廃棄物最終処分場の設置及び管理の適正化等に関する条例」など条例議案７件、「工事請負契約の変更について」などその他の議案６件を提出しております。

よろしく御審議の上、御賛同を賜りますようお願い申し上げ、提案理由といたします。

なお、本会期中に、給与関連議案及び人事案件を追加提出する予定でありますので、あらかじめ御了承をお願い申し上げます。